

樋口 真人 先生 特別講義

講師： 樋口 真人 MD, Ph.D

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
分子神経イメージング研究プログラム
脳分子動態チーム チームリーダー



演題： 認知症創薬の基礎と臨床をつなぐ分子イメージング

日時： 2016年10月7日（金）午後4時50分－6時35分（105分）

場所： 東京大学薬学部南館4階大学院講義室

樋口博士は、アルツハイマー病の病態イメージング研究において世界をリードされる第一人者です。博士の疾患モデル動物からヒトまで応用可能なイメージングプローブの開発および、そのプローブを利用した分子イメージングの成果は、病態形成メカニズムの解明を目指す基礎研究の面だけでなく、診断・治療を目指す臨床研究の面においても広く注目されています。

最近では、アルツハイマー病脳などにおいて異常に蓄積するタウタンパク質のイメージングを世界で初めて可能にし、塚原仲晃記念賞を受賞されるなど、輝かしい業績を挙げておられます。このたび大学院講義「医療薬学特論」におきまして、博士のこのような目覚ましい研究成果をわかりやすく解説していただくとともに、最新の研究内容についてもご紹介いただく機会を設けました。大学院生だけでなく、PI・若手研究者の方々の多数のご参集をお待ちしております。

参考文献

- Maruyama et al., 2013. *Neuron* 79:1094–1108.
- Higuchi et al., 2012. *FASEB J.* 26:1204–1217.
- Maeda et al., 2011. *J. Neurosci.* 31:4720–4730.
- Yoshiyama et al., 2007. *Neuron* 53:337–351.
- Maeda et al., 2007. *J. Neurosci.* 27:10957–10968.

連絡先： 東京大学大学院薬学系研究科機能病態学 富田泰輔・堀由起子
Tel: 03-5841-4868（内 24868）, Email: taisuke{at}mol.f.u-tokyo.ac.jp